

「新・議会改革・運営ビジョン」策定に向けた進め方・手順等について(課題の整理案)

視点	項目 市議会の方向性 〔議会活動・運営をどう していく〕	議会の「理想的な姿」を実現するために、これから取り 組むべき課題 「議会プロフィール5」	課題とした理由と背景	議会の現在の姿 「プロフィール3」	実現方策等 「議会プロフィール6」		
					手段・手順・方法 〔何を・どのようにして・どうする〕	達成時期等 〔いつまでに〕	実践してい く組織等
視点1. 戦略プラン	①理想的な姿の構築	①-1 全議員で決定したスロー ガン、ミッション、ビジョ ンの市民と議会全体への反 映	・住民福祉の向上を目指し て、議会としてのスローガ ン、ミッション、ビジョ ンを初めて明確化。議会活動が市民益 につながることを理解してもら い、これまで以上に議会に関 心を持ってもらう必要がある。				
		①-2 議会の「理想的な姿」を 実現していくための継続 的に取り組んでいく仕組 みづくり	・地方議会評価モデルの取 り組みから明らかになった議 会の「理想的な姿」を実現し ていくためには、現実とのギャ ップを埋める努力が必要不可 欠。	・議長諮問による議会の在 りの研究が求められている。			
	②課題の明確化	②-1 収集された情報を様々な 観点から分析し、政策提 言・政策立案や議会改革 のテーマへとつなげてい くためのプロセスや仕組 みの構築、あるいは既存 の仕組みの改善	・これまでの10年間は、「議 会改革・運営ビジョン」の進 行管理をしながら、議会改 革を行ってきた。一定の成 果はあったものの、自己評 価が度絶えたり、時代の変 化に対応しアップ・デー トできていないなど、取 り組みが不十分であった。	・全議員で課題に取 り組む風土がある。			

「新・議会改革・運営ビジョン」策定に向けた進め方・手順等について(課題の整理案)

視点	項目 市議会の方向性 〔議会活動・運営をどうしていく〕	議会の「理想的な姿」を実現するために、これから取り組むべき課題 「議会プロフィール5」	課題とした理由と背景	議会の現在の姿 「プロフィール3」	実現方策等 「議会プロフィール6」		
					手段・手順・方法 〔何を・どのようにして・どうする〕	達成時期等 〔いつまでに〕	実践している組織等
	③課題解決の具現化	③-1 飯田市議会の「理想的な姿」を実現するため、体系的かつ具体的な目標や、目的達成のための継続性を持った計画づくり	・市議会では、これまでに「理想的な姿」と「今ある現実の姿」を明らかにしてきた。現実と理想のギャップを埋めていくためには、議会をどのように変え、どのような課題に重点的に取り組んでいくか明らかにしなければならない。	・継続的な常任委員会活動の質的向上が課題			
		③-2 飯田市自治基本条例「第6章市議会の役割」の検討	・議会改革を担保していくため、自治基本条例に取り組むべき内容を規定してきた。地方議会評価モデルの取り組みでは、市民に「信頼される議会」の必要性が浮き彫りとなった。 ・これからの市民との関係性と「新ビジョン」の策定結果を踏まえ、住民福祉の向上につなげていくため、何を条例に規定していくのか検討が求められる。	・公募を含めた市民と議会と共同して制定した自治基本条例は市民参加型のプロセスこそ継承されるべき ・「評価モデル」から抽出された課題や活動目標を実現し、これを担保するものが、自治基本条例の「議会」の項目では不足している。			

「新・議会改革・運営ビジョン」策定に向けた進め方・手順等について(課題の整理案)

視点	項目 市議会の方向性 〔議会活動・運営をどう していく〕	議会の「理想的な姿」を実現するために、これから取り 組むべき課題 「議会プロフィール5」	課題とした理由と背景	議会の現在の姿 「プロフィール3」	実現方策等 「議会プロフィール6」		
					手段・手順・方法 〔何を・どのようにして・どうする〕	達成時期等 〔いつまでに〕	実践してい く組織等
視点2. 政策サイク ル	④住民との対話	④-1 議会報告・意見交換会の 在り方を見つめ直すとともに、政策サイクルにおける タウンミーティングの実施 と定着	<ul style="list-style-type: none"> 議会報告・意見交換会は、市議会の政策サイクルの起点となっている。参加者の属性に偏りがあり、負担感が大きいことから、これまでの取り組みを見直す必要がある。 高校生や子育て世代など、幅広い市民等との対話を行うタウンミーティングのウエイトを大きくし、政策に反映させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ブロック別に行う議会報告・意見交換会とアンケート調査の実施 議会報告・意見交換会において、質問や提言に対し、年内に回答、委員会の調査研究活動の中で検討。市民との意見交換を通じ政策提言へつなげている。 高校生とのタウンミーティングを実施 総合計画に市民の声を反映できていない。(市民との政策討論会の実施) 			
		④-2 市民と対話、市民からの 考えを聞くことについての 学び直し	<ul style="list-style-type: none"> 普段の議会活動に、市民との対話の機会を増やし意見を取り入れていくためには、議員としての心構えや資質が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民からの意見に基づいて、議員間討議ができていない。 			

「新・議会改革・運営ビジョン」策定に向けた進め方・手順等について(課題の整理案)

視点	項目 市議会の方向性 〔議会活動・運営をどうしていく〕	議会の「理想的な姿」を実現するために、これから取り組むべき課題 「議会プロフィール5」		課題とした理由と背景	議会の現在の姿 「プロフィール3」	実現方策等 「議会プロフィール6」		
		手段・手順・方法 〔何を・どのようにして・どうする〕	達成時期等 〔いつまでに〕			実践している組織等		
⑤議員間の討議	⑤議員間の討議	⑤-1 現制度である議案に対する議員間討議の周知と、改善点の洗い出し	<ul style="list-style-type: none"> ・議員間討議の仕組みはあるが、議員間討議の効果的な運用が全体化できていないため、実施した事例が少ない。 ・議案に対する論点や争点を明らかにする意識はあるが、そのための準備や時間が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会での議員間討議の実例が少ない。 				
		⑤-2 議員間討議を行うための論点を明確にする仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・常任委員会において、論点や争点を明らかにするため、「論点抽出表」の活用が試行的に始まっている。 ・活用の頻度を高め、議案と向き合う準備を整えていく必要がある。そのためには、課題を明らかにし、定着する仕組みの検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議員間討議を積極的に行うべきであるが、議論を深めるための課題認識・課題共有が不十分 ・市民からの意見要望について議員間討議ができていない。 				

「新・議会改革・運営ビジョン」策定に向けた進め方・手順等について(課題の整理案)

視点	項目 市議会の方向性 〔議会活動・運営をどうしていく〕	議会の「理想的な姿」を実現するために、これから取り組むべき課題 「議会プロフィール5」	課題とした理由と背景	議会の現在の姿 「プロフィール3」	実現方策等 「議会プロフィール6」		
					手段・手順・方法 〔何を・どのようにして・どうする〕	達成時期等 〔いつまでに〕	実践している組織等
	⑥政策立案・提言、議案審査	⑥-1 政策サイクルを回し、バージョンアップするための課題整理と対策	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究の必要性、有効性については議会全体の共通認識。2年間の所管事務調査については定着しているものの、時々政策課題に柔軟に対応し、政策提言等ができる体制が求められる。 ・市民の意見聴取から政策提言につながった実例が少ないため、議会独自の視点を取り入れた政策立案や議案審査、執行の監視等に結び付ける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年議会相当の議会活動を実施している。 ・任期ごとに設定するテーマに基づく常任委員会の調査研究と政策提言を実施 ・視察目的を明確化した常任委員会の管内・管外視察を実施 ・限られた財源の中で、如何に住民の意見やニーズを政策サイクルにのせていくか課題 ・政策サイクルバージョンアップのための委員会代表質問の検討が必要。 ・政務調査報告会の一般公開を実施 ・議員個人の課題提起を委員会の活動につなげることが課題 ・一般質問や質疑を政策サイクルに組み込むことが課題 			

「新・議会改革・運営ビジョン」策定に向けた進め方・手順等について(課題の整理案)

視点	項目 市議会の方向性 〔議会活動・運営をどうしていく〕	議会の「理想的な姿」を実現するために、これから取り組むべき課題 「議会プロフィール5」	課題とした理由と背景	議会の現在の姿 「プロフィール3」	実現方策等 「議会プロフィール6」		
					手段・手順・方法 〔何を・どのようにして・どうする〕	達成時期等 〔いつまでに〕	実践している組織等
		⑥-2 議案審査などにおいて、 会派や委員会で論点整理する仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・議案審査等に関して、論点整理をする場として、予算決算委員会準備会があるが、予算案件に限られていることから、自ずと限界が生じている。 ・予算、決算審査に当たっての着眼点の整理と議員間の共有に加え、重要課題に対しては、議会全体で取り組んで体制づくりが必要。 				
	⑦総合計画、政策評価、予算・決算の連動	⑦-1 予算提言を行うための予算決算委員会の機能向上	<ul style="list-style-type: none"> ・行政評価に対しては、予算決算委員会が全体のマネジメントを行い政策提言から、予算反映における追跡等を行うなど、一例の流れは定着しているが、予算提言に至らない場合が多く課題の一つとなっている。 ・予算決算委員会が立ち上がって4年が経過したが、前期全体会、分科会、後期全体会における質疑が不安定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予算決算委員会の設置により、予算提言まで連動する新たな政策サイクルの基礎が構築された。 ・政策サイクルに組み込まれた行政評価を実施中。 ・予算提言に至らない場合が多く、決算審査を予算審査へ生かすという「議会の政策サイクル」が機能しているとはいえない。 ・予算決算委員会準備会がまだ機能を果たしきれていない。 			

「新・議会改革・運営ビジョン」策定に向けた進め方・手順等について(課題の整理案)

視点	項目 市議会の方向性 〔議会活動・運営をどうしていく〕	議会の「理想的な姿」を実現するために、これから取り組むべき課題 「議会プロフィール5」	課題とした理由と背景	議会の現在の姿 「プロフィール3」	実現方策等 「議会プロフィール6」		
					手段・手順・方法 〔何を・どのようにして・どうする〕	達成時期等 〔いつまでに〕	実践している組織等
		⑦-2 提言後のふり返りと検証を十分に行うことができる仕組み	・政策提言を行った後の追跡調査ができていない。「言いつばなし」「やりっ放し」にならないよう、検証活動を確立していく必要がある。	・提言後のふり返りと検証が不十分			
視点3. 条件整備	⑧能力向上	⑧-1 議会の理想的な姿の実現に向けた、「議会人」としての必要な能力の明確化と計画的な能力伸長のための仕組み	・議員力と議会としての質問力アップのための「たかが一般質問、されど一般質問」を作成しマニュアル化したが、実践に結び付いているとはいえない点もある。 ・質問力、論点抽出力など、議会人として必要な能力やスキルを明らかにしたうえで、議員個々の資質の向上が求められている。	・議員個々の専門性の追求が課題 ・財政分野などへ幅広い活用が求められる。			
		⑧-2 「チーム飯田市議会」として事務局職員の能力向上	・議会の政策的機能を向上させていくためには、議員だけではなく「チーム飯田市議会」として、事務局職員の能力向上も求められる。 ・そのためには、政策に必要な情報やデータ提供など、政策補佐的機能を高める必要がある。				

「新・議会改革・運営ビジョン」策定に向けた進め方・手順等について(課題の整理案)

視点	項目 市議会の方向性 〔議会活動・運営をどうしていく〕	議会の「理想的な姿」を実現するために、これから取り組むべき課題 「議会プロフィール5」	課題とした理由と背景	議会の現在の姿 「プロフィール3」	実現方策等 「議会プロフィール6」		
					手段・手順・方法 〔何を・どのようにして・どうする〕	達成時期等 〔いつまでに〕	実践していく組織等
⑨体制づくりと活動基盤整備		⑨-1 体制や運営の制度面における課題の洗い出しと改善	・より良い体制や活動に向けた整備が必要であるとの認識はあるが、具体的な課題の洗い出しができていない。	・議会運営委員会における定例会ごとの反省会を実施			
		⑨-2 飯田市議会の各種制度や活動の目的及び趣旨の全議員における共有化	・議会活動や運営を見える化したうえで「全体化できているもの」、「できていないもの」があり整理が必要。				
		⑨-3 事務局体制の充実、強化	・委員会活動は開会中に限られているが、閉会中の継続調査等を含め、活動領域が拡大し通年的な活動となっている。 ・議会事務局職員の負担も大きくなっており、増員等も含め事務局体制の強化が求められている。	・事務局体制の強化と法政担当の配置に係る議長からの市への申し入れが必要。			

「新・議会改革・運営ビジョン」策定に向けた進め方・手順等について(課題の整理案)

視点	項目 市議会の方向性 〔議会活動・運営をどう していく〕	議会の「理想的な姿」を実現するために、これから取り 組むべき課題 「議会プロフィール5」	課題とした理由と背景	議会の現在の姿 「プロフィール3」	実現方策等 「議会プロフィール6」		
					手段・手順・方法 〔何を・どのようにして・どうする〕	達成時期等 〔いつまでに〕	実践してい く組織等
	⑩内部資源と外部 連携の活用	⑩-1 所管事務調査などにおける 専門的知見の活用	<ul style="list-style-type: none"> 外部資源の活用は有効であると認識しているが、委員会活動において、専門家を招聘するなど、「参考人制度」を活用している事例が少ない。 政策立案・提言、議案審査を充実させていくためには、専門的知見の活用は欠かせない。 	<ul style="list-style-type: none"> 大学教授の知見の取入れが重要 			
		⑩-2 ICTの更なる活用の検討	<ul style="list-style-type: none"> 議会のペーパーレス化は実現したが、議員の調査研究活動を充実させるためのiPadの活用が不十分であるため、汎用性を高めていく必要がある。 				
視点4. 信頼と責任	⑪法令等遵守	⑪-1 法令やコンプライアンスを遵守する重要性と公人としての高い倫理観を全議員が認識するための計画的、かつ継続的な研修のあり方を研究	<ul style="list-style-type: none"> 飯田市自治基本条例第25条「市議会議員の責務」や「飯田市議会議員の政治倫理に関する内規」などを踏まえ、計画的、継続的な研修を確立する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 政治倫理をテーマにした研修会を実施 			

「新・議会改革・運営ビジョン」策定に向けた進め方・手順等について(課題の整理案)

視点	項目 市議会の方向性 〔議会活動・運営をどうしていく〕	議会の「理想的な姿」を実現するために、これから取り組むべき課題 「議会プロフィール5」	課題とした理由と背景	議会の現在の姿 「プロフィール3」	実現方策等 「議会プロフィール6」		
					手段・手順・方法 〔何を・どのようにして・どうする〕	達成時期等 〔いつまでに〕	実践している組織等
	⑫情報公開と説明責任	⑫-1 議会活動の広報が不十分、かつ広報のツール不足	<ul style="list-style-type: none"> 情報の共有が住民主体の自治実現の基本であるとの認識はあるが、現状のホームページと議会だよりが、議会に対する市民の関心を高め、意見を寄せてもらうなど、双方の共有には至っていない。 必要な媒体も含め、その在り方と改善が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> インターネットによる本会議と委員会の映像配信を実施 政務調査結果のホームページ公開 ホームページでどの程度周知されているか課題 			
	⑬危機管理	⑬-1 議会BCPの磨き上げ	<ul style="list-style-type: none"> 議会として業務継続計画を作成するとともに、災害対策会議を編成することで、「災害と向き合うことができる議会」として、体制づくりを進めてきている。 防災訓練の訓練内容の充実や訓練を頻繁に実施するなど、さらなる検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 議会BCPの具現化 			
		⑬-2 有事の際、地域の復旧・復興に関する政策提言機能の発揮に関する検討	<ul style="list-style-type: none"> 議会として有事の際の救援から復興まで、どのように関わっていくべきか明らかにし、業務継続計画に位置付けていくことが求められている。 				

「新・議会改革・運営ビジョン」策定に向けた進め方・手順等について(課題の整理案)

視点	項目 市議会の方向性 〔議会活動・運営をどう していく〕	議会の「理想的な姿」を実現するために、これから取り組むべき課題 「議会プロフィール5」	課題とした理由と背景	議会の現在の姿 「プロフィール3」	実現方策等 「議会プロフィール6」		
					手段・手順・方法 〔何を・どのようにして・どうする〕	達成時期等 〔いつまでに〕	実践している組織等
	⑭主権者教育と選挙の充実	⑭-1 主権者教育と主権者意識の醸成に対する基本的な考え方の整理と具体策	<ul style="list-style-type: none"> ・議会として主権者意識の醸成や「二元代表制」としての議会の役割を市民に理解してもらう必要性は共有できているが、足並みがそろっていないと言いはり難い。 ・議員のなり手不足が叫ばれる今、改めて主権者意識の醸成が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校における出前講座を実施 ・投票率の向上が課題(市政への無関心層・若年層へのアプローチ) 			
視点5. ふり返りと学び	⑮ふり返りの取り組み方 ⑯ふり返りの結果活用	⑮⑯-1 取り組みのサイクルの中に「ふり返し」を位置づけ、次のアクションに繋げていく仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取り組みの多くは、「ふり返し」が不十分で、議会活動の継続性に課題があったことから、ふり返りの習慣化が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会改革の自己検証が必要 			
		⑮⑯-2 次の任期においても、継続して取り組むことができる制度	<ul style="list-style-type: none"> ・「議会プロフィール6」を実現していくためには、取り組むべき内容や市民との関係性を明文化するとともに、議員が交代しても実施できるよう担保していく制度設計が求められる。 				
		⑮⑯-3 地方議会評価モデルの進行管理の在り方検討	<ul style="list-style-type: none"> ・全議員で取り組んできた地方議会評価モデルを今後とも活用しながら、住民の福祉の向上を目指していくためには、進行管理のあり方が極めて重要。 				